

## エクセルだけで差し込み印刷

「差し込み印刷」は、ワードの代表的な機能です。ワード文書に、エクセルなどのデータベースを流し込んで印刷します。とても便利ですが、「ワードのファイルを別に作らないといけない」という点がめんどろ。また、「条件によって、印刷する文書ファイルを変えたい」など、高度な作業は自動化できません。

そこで、「エクセルだけで、手軽に差し込み印刷」してみます。マクロを、ちょっとだけ加工します。さらに勉強すれば、高度な作業の自動化も可能です。

### 1. シートの準備

案内状と封筒を、印刷できるようにしましょう。

(1)「名簿」シートを作り、以下のようなサンプルデータを入れます。

	A	B	C	D	E
1	No	氏名	〒	住所1	住所2
2	1	菅 直人	100-1111	ふしぎな町1丁目1	日の丸ハイツ102
3	2	前原 誠司	100-2222	ふしぎな町1丁目2	
4	3	細川 律夫	100-3333	ふしぎな町1丁目3	
5	4	柳田 稔	100-4444	ふしぎな町1丁目4	
6	5	鹿野 道彦	100-5555	ふしぎな町1丁目5	
7	6	北澤 俊美	100-6666	ふしぎな町1丁目6	
8	7	仙谷 由人	100-7777	ふしぎな町1丁目7	
9					
10					

(2)「マクロ」シートを作ります。Noを入力すると、自動的に「名簿」シートの該当するデータが入るように、関数を入力します。

	A	B
1	No	1
2	〒	=INDEX(名簿\$B\$2:\$E\$100,\$B\$1,2)
3	住所1	=INDEX(名簿\$B\$2:\$E\$100,\$B\$1,3)
4	住所2	=INDEX(名簿\$B\$2:\$E\$100,\$B\$1,4)
5	氏名	=INDEX(名簿\$B\$2:\$E\$100,\$B\$1,1)
6		

index(範囲,行,列)で、「範囲の中の、○行○列の値を表示する」となります。

「名簿」のうしろの「!」は、シートを表す関数記号。

「\$」は、絶対参照記号。B2に関数を入れたら、その内容をコピーして、列数値のみ変えれば、簡単に入力できます。

(3)「案内状」シートと「封筒」シートを作り、それぞれ好きなようにデザインします。  
「ページレイアウト」タブ→「サイズ」で、案内状はA4に、封筒は長形3号に。

「案内状」シート

	A	B	C
1	=マクロ!\$B\$5&	様	
2		特定非営利活動法人パソコンどーじょー	
3			
4		このたびは、IT講習にお申し込みいただき、ありがとうございます。	
5		下記内容で、説明会を行います。	
6		どうぞ、お気をつけてお越しください。	
7		なお、ご都合で参加できない場合は、かならず電話にてご連絡ください。	
8			
9	◆日時:	10月19日(火) 午前10時から約1時間	
10	◆持ち物:	受講申込書	
11	◆場所:	パソコンどーじょー大和研修室	
12		大和市中心2-5-20 YGCビル2F	
13			
14		大和駅相鉄口(北口)を出て、徒歩2分です。	
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			

「封筒」シート

	A	B	C
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16		=マクロ!B2	
17			
18		=マクロ!B3	
19		=マクロ!B4	
20			
21		= "&マクロ!B5&"	様
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37		242-0021	
38		大和市中心2-5-20	
39		NPO法人パソコンどーじょー	
40		事務局	
41			

## 2. マクロの自動記録

「マクロ」シートを選択した状態で、次の操作をします。

- (1)「表示」タブ→「マクロ」→「マクロの記録」で、マクロ名は「案内状印刷」として「OK」。
- (2)「案内状」シートを選択→Office ボタン→「印刷」→「印刷プレビュー」→「印刷プレビューを閉じる」→「マクロ」シートを選択。
- (3)「表示」タブ→「マクロ」→「記録終了」。
- (4)(1)～(3)と同様にして、「封筒」シートのプレビューも、マクロに記録します。

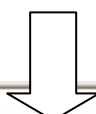
※今回は「印刷プレビュー」にしました。

これを「印刷」もしくは「クイック印刷」にすれば、プレビューすることなしに印刷を実行するようになります。

## 3. マクロの修正

「表示」タブ→「マクロ」→「マクロの表示」で、「編集」ボタンをクリックすると、「Visual Basic Editor」というウィンドウが開きます。

そこに表示されている内容が、マクロの正体。これを以下のように書き変えて保存します。



```

(General)
Sub 案内状印刷()
' 案内状印刷 Macro
'
    Sheets("案内状").Select
    ActiveWindow.SelectedSheets.PrintPreview
End Sub

Sub 封筒印刷()
' 封筒印刷 Macro
'
    Sheets("封筒").Select
    ActiveWindow.SelectedSheets.PrintPreview
    Sheets("マクロ").Select
End Sub

```

---

```

(General) 封筒印刷
Sub 案内状印刷()
' 案内状印刷 Macro
'
枚数 = WorksheetFunction.Count(Sheets("名簿").Range("A2:A100"))
For i = 1 To 枚数
    Range("B1") = i

    Sheets("案内状").Select
    ActiveWindow.SelectedSheets.PrintPreview
    Sheets("マクロ").Select
Next i
End Sub

Sub 封筒印刷()
' 封筒印刷 Macro
'
枚数 = WorksheetFunction.Count(Sheets("名簿").Range("A2:A100"))
For i = 1 To 枚数
    Range("B1") = i

    Sheets("封筒").Select
    ActiveWindow.SelectedSheets.PrintPreview
    Sheets("マクロ").Select
Next i
End Sub

```

## 4. ボタンの作成

「マクロ」シートにボタンを作り、そのボタンにマクロを登録します。

The screenshot shows an Excel spreadsheet with columns A through I and rows 1 through 21. In column A, rows 2 to 5 contain the following data:

No	
〒	100-1111
住所1	ふしぎな町1丁目1
住所2	日の丸ハイツ102
氏名	菅 直人

Two buttons are visible on the spreadsheet: '案内状印刷' (Print Invitation Card) in cell D4 and '封筒印刷' (Print Envelope) in cell D5. A 'マクロの登録' (Register Macro) dialog box is open, showing a list of macros with '案内状印刷' selected. The dialog box has fields for 'マクロ名(M):' (Macro Name), 'マクロの保存先(S):' (Save macro to), and '説明' (Description). The 'OK' button is highlighted.

①ボタンっぽい図形を挿入し、右クリック→「テキストの編集」で「案内状印刷」と入力。

②ボタンを右クリック→「マクロの登録」で「案内状印刷」を選んで「OK」。

③封筒印刷も、同様にしてボタンを作って、マクロを登録します。

これで、ボタンをクリックすると、入力データすべての印刷プレビューが実行されます。ファイルを保存してから、ボタンをクリックして確かめてみましょう。